

諫早市選挙管理委員会会議録（第 12 回）		
開催日時	平成 26 年 11 月 13 日（木） 午後 3 時 00 分	
開催場所	諫早市東小路町 7 番 1 号 諫早市役所 8 階 会議室 8-4	
出席者	委員	古川委員長 宮崎委員 大島委員 石田委員
	書記	中道書記長 船岡次長
会 議（付 議 事 件）		
開 会 宣 言	午後 3 時 00 分 古川委員長	
議 案 番 号	事 件 名	採 決
議案第 52 号	在外選挙人名簿の登録の抹消について	原案のとおり 可決
議案の審議過程 における質疑、 意見等	質疑、意見等特になし	
報告事項、意見 など	<投票所閉鎖時刻の繰り上げについて> ○ 平成 25 年 5 月 31 日に開催した選挙管理委員会で繰り上げについて 論議した内容について、事務局から概要、県選管に提出した届出理由に ついて説明し、解散が予想される衆議院議員総選挙で繰り上げるかどう か論議してもらった。 【委員の意見】 ・ 県に届け出た理由に「議会や住民からの要望」と書いてあるが、「議 会の要望」と言えるのか。 （事務局：議員個人の意見だけでなく、行財政改革特別委員会、予算 決算委員会の意見として、本会議で出された。議会の組織 から選管に要望が出されたということであるので、議会か らの要望と受け取っている。） ・ 議会で繰り上げに対する反対意見があれば、議会で議決すべきであ る。市民に個人的に聞いたが、賛成が 6 割、反対が 4 割だった。大 方の人は繰り上げに賛成している。 ・ 議会の会議録にも投票終了時刻を早めろという意見が多く載ってい る。繰り上げる前に、議会の意見を聞く必要があったと思う。 （事務局：平成 10 年 6 月以降の選挙から投票時間が午後 8 時に延長 された。投票率を上げるために、平成 15 年に期日前投票 制度ができた。） ・ 自治会・議会の要望、期日前投票の定着、経費削減、市民への周知 の徹底、の 4 つの点で繰り上げについて論議してきている。 ・ 選管の補充員から選管委員に選任されたとき、議員の一人から投票 時間を 6 時から 8 時に延長してくれと言われた。繰り上げた時、議 会からは反発の声しか聞こえなかったが、市民からはあれでいい、 戻しても選挙に来ない人は来ない、と言われた。 ・ 長田地区の地域出前講座で、講座に参加した市民が、他の参加者に 繰り上げについて賛成か反対か意見を聞いていた。出席者 33 人中 32 人が賛成、1 人はその時何も言わなかったが、後から賛成と言 われた。100%賛成であった。	

報告事項、意見 など	・閉鎖時刻を午後 8 時に戻すのなら、今度は戻すための理由が必要となる。 ・自治会の集会など人が集まる会合などで、繰り上げについての賛否を聞いてみる必要もあるかもしれない。 ・現委員の任期中は、繰上げの方針で意思確認しているので、他都市に比べ投票率が大きく下がるなど、大きな影響があれば検討の必要があると思う。 ・県知事選で投票率は低かったが、投票率は候補者の問題もある。 ・投票率を上げるための対策は、投票時間の延長だけではない。候補者の政策にもあると思う。 ・期日前投票所の増設、魅力ある候補者、市民への啓発、高齢者対策、「魅力ある候補者」以外のことについては、選管として取り組んできている。 <新年度の事業について> ○ 事務局から、議会予算決算委員会に提出した資料を配付説明し、新年度で予算等要求すべき事項がないか論議してもらった。 【委員の意見】 ・期日前投票所の増設には、1 か所あたりいくら位かかるのか。 出前講座の長田地区では、期日前投票所を増設してくれとの要望があった。 (事務局：1 か所あたり約 3 0 万円かかる。投票所には特殊な事例が発生した時に対応できる職員の配置も必要。) ・啓発関係としては、のぼりの作成よりポスター（人が多く集まる場所に貼る）を作成してもらいたい。 ・明るい選挙推進協議会への支援として、話し合い活動時の費用、会を活性化するための予算を要求してもらいたい。 ・大学生の啓発グループをつくるための、活性化のための支援経費が獲得できればと思う。 <選挙地域出前講座について> ※ 論議の時間が確保できなかったため、次回の委員会で論議することになった。 <その他> ○ 事務局から、12 月 2 日公示、12 月 14 日投開票の日程で、衆議院議員総選挙が執行されるような報道がなされていることを説明し、選挙に伴う議決案件が生じた場合は、委員会を開かず、委員長の特決処分に対応させてもらいたいことをお願いした。 <次回の委員会開催日程> ○ 12 月 1 日（月）15:00～ または、12 月 2 日（火）9:00～ (衆議院が解散され、選挙が執行されれば、会議の開催日程に変更が生じるため)
閉 会 宣 言	午後 4 時 42 分